

「エイズ」について

クラブ奉仕委員長会議報告（2004.7.25）

保健問題部門カウンセラー 成川守彦

2003-04 年度、国際ロータリー会長 グレン E. エステス・シニアは、
2月のロータリー国際協議会で、

「ロータリー創設 100 周年の今年度、ロータリーの過去・現在・未来を称える最高の方法は、**奉仕の業を實踐し、全世界的な親睦を強化することです。**」と述べました。

そして、

「これを実行するための、クラブでの二大 100 周年記念活動は、**双子クラブ・プログラム**と**100 周年社会奉仕プロジェクト**です。

また、クラブに**保健問題、水管理、識字率向上**という**強調分野**に関連したプロジェクトを実施してください。

世界で 4,200 万人がエイズを引起す HIV ウイルスに感染しています。感染者のほとんどは医療へのアクセスが限られた発展途上国にいます。これは私たちが取り組むべき保健問題の、ほんの一例に過ぎません。」

こう話しています。

皆様もお考えのように、本来「エイズ問題」は社会奉仕、或いは国際奉仕の担当分野に入るかもしれませんが。

しかし、今年度社会奉仕委員会は「**100 周年社会奉仕プロジェクト**」を重点に取り組むことになっています。又、中島 DG から、日本に於ける「エイズ問題」に取り組んでいただきたいという強いご要望により、国際奉仕ではなく、このクラブ奉仕で、「エイズ問題」を担当することになったのであります。よろしくご了解ください。

「エイズ問題」は、日本ではあまり表面に出ないため身近に感じられない問題ですが、日本ではエイズ患者は確実に増加しています。

それ故、実態をつかんでいただき、12月1日の「エイズデー」には、何か活動を実施して頂きたい。

「エイズ問題」への取り組みは時間がかかると思います。第1年目は、実態をつかむことと会員への啓蒙をお願いします。

今取り組んでいかなば取り返しのつかない事態に発展する危険があります。是非長期戦で取り組んでいただきたいと思ひます。

そういうことで、これから、

1) 保健問題部門副カウンセラー 根来 孝夫医師 と

2) 和歌山県健康対策課 畑中 美文班長

による講演とその後の質疑応答を予定しております。

**来年の3月には、各クラブから「エイズ問題」への取り組みを報告していただきますので、
よろしくお願いたします。**